

18:75

1/13

様式0-1(1/2)

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23413報)

2022年4月5日 14時30分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9901

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [4月5日 11時00分現在] ・サブドレン等 分析結果 [採取日 4月4日] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 4月4日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 4月4日] ・構内排水路 排水路流量と分析結果 [採取日 3月18日~3月24日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 3月31日、4月4日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 3月28日、4月4日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクLの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、4月6日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 4月1日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/15

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年4月5日 11:00現在

【重要事項】
各計測値については、経緯やその他の異常履歴の影響を受けて、誤差の使用原価率を
修正しているものもあり、正しく記載されていない可能性があります。また、計測
プラントの状態を把握するに際し、このような計測の不確かさを考慮し、計測
の計測値から算出される値は、概算値として扱われるものと見做すこととされています。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 24 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (4/5 11:00 現在)	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.6 m ³ /h (4/5 11:00 現在)	給水系: 1.7 m ³ /h CS系: 0.0 m ³ /h (4/5 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 14.0 °C 原子炉 SKIPRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 13.3 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 13.4 °C (4/5 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 21.7 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 23.0 °C (4/5 11:00 現在)	スカーション上部温度 (TE-2-3-69F1): 20.5 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 18.1 °C (4/5 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 13.4 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 13.4 °C (4/5 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 22.2 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH-2-168 (TE-16-114G#1): 22.2 °C (4/5 11:00 現在)	格納容器空冷機戻り空気温度 (TE-16-114A): 20.3 °C 格納容器空冷機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 18.0 °C (4/5 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.17 kPa g (4/5 11:00 現在)	3.94 kPa g (4/5 11:00 現在)	0.45 kPa g (4/5 11:00 現在)	
窒素封入装置 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.48 Nm ³ /h (JP-A): 14.07 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (4/5 11:00 現在)	RPV-A: 6.66 Nm ³ /h RPV-B: 6.61 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (4/5 11:00 現在)	RPV-A: 8.39 Nm ³ /h RPV-B: 8.66 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (4/5 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	209 m ³ /h (4/5 11:00 現在)	17.20 Nm ³ /h (4/5 11:00 現在)	19.78 Nm ³ /h (4/5 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水蒸気温度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (4/5 11:00 現在)	A系: 0.08 vol% B系: 0.08 vol% (4/5 11:00 現在)	A系: 0.13 vol% B系: 0.11 vol% (4/5 11:00 現在)	
原子炉格納容器 成別温度 ※2 (Xe185) ※2	A系: 指示値 9.10E-04 検出限界値 3.64E-04 B系: 指示値 9.95E-04 検出限界値 2.98E-04 (4/5 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 (4/5 11:00 現在)	A系: 指示値 Bq/cm ³ 検出限界値 ND B系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 (4/5 11:00 現在)	※6 ※6
使用済燃料プール 水温度	18.9 °C (4/5 11:00 現在)	17.7 °C (4/5 11:00 現在)	※5 (4/5 11:00 現在)	※5 14/5 11:00 現在
FPC 燃料シヤウ 水位	4.24 m (4/5 11:00 現在)	3.68 m (4/5 11:00 現在)	※6 (4/5 11:00 現在)	※6 67.2 X100mm 14/5 11:00 現在

【注】
※1: 原子炉のベントシステムの排気流量を指す。
※2: 原子炉のベントシステムの成別温度を指す。
※3: 原子炉の窒素封入装置の排気流量を指す。
※4: 原子炉の排気流量を指す。
※5: 原子炉の排気温度を指す。
※6: 原子炉の排気濃度を指す。

3/13

2022年4月5日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

サブドレン等 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機サブドレン	2022/04/04 08:36	< 6.8E+00	< 5.0E+00	1.5E+02
2号機サブドレン	2022/04/04 07:23	< 3.3E+01	3.5E+02	1.2E+04
3号機サブドレン	2022/04/04 08:15	< 4.6E+00	< 4.1E+00	< 4.7E+00
4号機サブドレン	2022/04/04 08:50	< 4.0E+00	< 5.0E+00	< 4.3E+00
5号機サブドレン	—	—	—	—
6号機サブドレン	—	—	—	—
構内深井戸	—	—	—	—

核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
 ・不等号 (<：小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

4/13

2022年4月5日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/04/04 08:50	< 4.0E+00	< 5.0E+00	< 4.3E+00
プロセス主建屋北東	2022/04/04 09:45	< 4.2E+00	< 4.4E+00	< 5.1E+00
プロセス主建屋南東	2022/04/04 09:37	< 5.0E+00	< 4.4E+00	< 3.3E+00
経固体廃棄物減容処理建屋南	2022/04/04 09:16	< 3.6E+00	< 4.6E+00	< 5.4E+00
サイトバンカ建屋南西	2022/04/04 09:31	< 3.2E+00	< 3.4E+00	< 3.9E+00
焼却工作建屋西側	2022/04/04 09:21	< 5.2E+00	< 6.5E+00	2.0E+01
経固体廃棄物減容処理建屋北	2022/04/04 09:11	< 3.8E+00	< 4.1E+00	< 5.2E+00
サイトバンカ建屋南東	2022/04/04 09:26	< 4.9E+00	< 4.4E+00	< 4.2E+00

・検査毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
 ・不等号 (<)：小なりは、検出限界値未満 (ND)を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・0.0E±0とは、0.0×10⁰であることを意味する。
 ・(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読み。
 ・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

5/13

2022年4月5日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一原子力発電所

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/04/04 07:55	4.6E+00	< 6.4E-01	4.2E+00
物場場排水路	2022/04/04 08:00	< 2.8E+00	< 5.3E-01	9.2E-01
K排水路	2022/04/04 06:00	4.4E+00	< 5.6E-01	1.7E+00
BC排水路	2022/04/04 06:00	< 2.8E+00	< 3.8E-01	< 4.8E-01
5,6号機排水路 ^{※1}	—	—	—	—

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・0.0E±0とは、 0.0×10^0 であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
 ・採取当日の降雨量は15 mm
 ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
 ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

6/13

2022年4月5日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一原子力発電所

構内排水路 排水路流量と分析結果 (全β・H-3・γ)

採取地点	採取日時	降雨量 (mm/日)	流量 (m ³ /秒)	分析項目			
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/03/18 07:56	32.0	0.000	5.0E+00	—	< 3.4E-01	2.3E+00
	2022/03/19 07:57	14.0	0.002	3.9E+00	—	< 3.0E-01	3.3E+00
	2022/03/20 08:05	0.0	0.001	6.0E+00	—	< 5.5E-01	3.5E+00
	2022/03/21 07:36	0.0	0.020	6.6E+00	—	< 5.6E-01	4.2E+00
	2022/03/22 07:10	15.5	0.002	6.8E+00	—	< 4.2E-01	4.5E+00
	2022/03/23 08:08	0.0	0.007	< 3.2E+00	< 7.0E+00	< 4.6E-01	3.1E+00
	2022/03/24 07:46	3.0	0.001	3.8E+00	—	< 4.9E-01	2.9E+00
物揚場排水路	2022/03/18 08:00	32.0	0.006	< 2.8E+00	—	< 4.0E-01	2.4E+00
	2022/03/19 08:02	14.0	0.011	5.0E+00	—	< 5.8E-01	5.2E+00
	2022/03/20 08:10	0.0	0.006	< 3.3E+00	—	< 3.9E-01	1.1E+00
	2022/03/21 07:42	0.0	0.006	< 3.3E+00	—	< 4.3E-01	1.4E+00
	2022/03/22 07:15	15.5	0.009	< 2.9E+00	—	< 5.5E-01	1.9E+00
	2022/03/23 08:12	0.0	0.006	< 3.2E+00	9.5E+00	< 5.1E-01	8.4E-01
	2022/03/24 07:50	3.0	0.007	< 3.4E+00	—	< 3.9E-01	1.3E+00
K排水路	2022/03/18 06:00	32.0	0.010	1.1E+01	—	< 4.2E-01	3.9E+00
	2022/03/19 06:00	14.0	0.047	6.1E+01	—	1.2E+00	4.0E+01
	2022/03/20 06:00	0.0	0.013	1.2E+01	—	< 5.2E-01	8.0E+00
	2022/03/21 06:00	0.0	0.011	6.4E+00	—	< 5.4E-01	3.4E+00
	2022/03/22 06:00	15.5	0.012	6.1E+00	—	< 4.6E-01	3.8E+00
	2022/03/23 06:00	0.0	0.014	1.8E+01	1.0E+02	< 6.7E-01	1.4E+01
	2022/03/24 06:00	3.0	0.017	6.8E+00	—	< 6.2E-01	4.8E+00
BC排水路	2022/03/18 06:00	32.0	0.020	3.0E+00	—	< 5.0E-01	< 5.4E-01
	2022/03/19 06:00	14.0	0.323	3.2E+00	—	< 3.4E-01	6.1E-01
	2022/03/20 06:00	0.0	0.025	< 3.3E+00	—	< 4.3E-01	< 4.6E-01
	2022/03/21 06:00	0.0	0.017	< 3.5E+00	—	< 4.7E-01	< 5.3E-01
	2022/03/22 06:00	15.5	0.031	< 2.9E+00	—	< 3.7E-01	< 6.0E-01
	2022/03/23 06:00	0.0	0.029	< 3.2E+00	8.5E+00	< 5.5E-01	< 6.8E-01
	2022/03/24 06:00	3.0	0.060	4.0E+00	—	< 5.1E-01	5.5E-01
5,6号排水路	—	—	—	—	—	—	—

・核種毎の半減期：H-3(約12年)，Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
 ・不符号 (<: 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
 ・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
 ・流量以外は既にお知らせ済み。

7/13

2022年4月5日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所環境管理センター

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	分析項目						結果 (ppm)
			その他(検出後種)	Co-60 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	
No.0-1	2022/04/04 08:33	7.7E+01	< 1.5E+00	< 1.2E+00	< 1.0E+03	< 4.2E+00	< 1.3E+00	1.1E+01	—
No.0-1-2	2022/04/04 08:40	1.4E+01	< 2.7E-01	< 1.8E-01	< 1.5E+00	< 9.3E-01	< 2.4E-01	2.3E+00	—
No.0-2	2022/04/04 08:58	< 1.2E+01	< 3.5E-01	< 2.9E-01	< 2.6E+00	< 1.0E+00	< 2.8E-01	< 3.7E-01	—
No.0-3-1	2022/04/04 08:43	1.4E+01	< 4.5E-01	< 3.1E-01	< 3.1E+00	< 1.3E+00	< 3.6E-01	1.0E+00	—
No.0-3-2	2022/04/04 08:48	1.9E+01	< 3.3E-01	< 3.0E-01	< 2.4E+00	< 8.3E-01	< 2.5E-01	7.7E-01	—
No.0-4	2022/04/04 08:53	< 1.2E+01	< 2.7E-01	< 2.5E-01	< 2.4E+00	< 9.2E-01	< 2.5E-01	2.4E+00	—
No.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-9 ※1	2022/04/04 08:27	< 1.2E+01	—	—	—	—	—	—	4.0E+01
No.1-11	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-12	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-14	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-16	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-17	—	—	—	—	—	—	—	—	—

・検出限界の半減期：Mn-54(約10日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sr-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不検号 (<)：小値り)は、検出限界未満(ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは、0.0x10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1x10¹で31、3.1E+00は3.1x10⁰で3.1、1.1E-01は1.1x10⁻¹で0.11と読み。

※1 No.1-9は、取水時による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としての測定に測定。

8/13

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

観測地点	採取日時	全β (Bq/L)	分析項目					塩素 (ppm)
			その他放射線	その他の観測項目				
			Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1,2号観測ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-
No.2	2022/04/04 08:18	2.1E+02	< 2.3E-01	< 4.1E-01	< 2.4E+00	< 9.0E-01	< 2.9E-01	7.1E-01
No.2-2	2022/04/04 08:05	1.8E+02	< 2.3E+00	< 2.2E+00	< 2.3E+01	< 6.3E+00	< 2.1E+00	4.5E+01
No.2-3	2022/04/04 07:58	2.6E+04	< 3.3E-01	< 4.3E-01	< 3.9E+00	< 1.4E+00	< 4.8E-01	3.7E+00
No.2-5	2022/04/04 07:30	1.5E+05	-	-	-	-	-	-
No.2-6	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-7	2022/04/04 08:22	3.7E+02	< 3.5E-01	< 3.7E-01	< 3.2E+00	< 1.2E+00	< 3.8E-01	9.8E-01
No.2-8	2022/04/04 08:10	3.2E+03	< 3.6E-01	< 3.7E-01	< 3.8E+00	< 1.2E+00	< 3.4E-01	1.9E+00
2,3号観測ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-
No.3	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5	-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号観測ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-

- 検出限界値: Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sr-90(約34年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 - 不検出: < (小文字) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
 - 測定対象外となる採取中止の項目は「-」と記す。
 - O.O.E.とは、 0.0×10^{-4} であることを意味する。
 (例) $3.1E+03$ は 3.1×10^3 であり、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 である。
 ※ 2 No.2-5, No.3-5は、放射線による採取であるため、7割増は実施せず。全βは参考値として掲載はしない。

9/13

2022年4月5日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

採取場所	採取日時	全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	その他の放射性核種				Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
				Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)			
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-2	2022/03/31 08:18	2.5E+01	1.3E+04	< 2.7E-01	< 3.2E-01	< 2.1E+00	< 8.4E-03	< 2.5E-01	8.0E-01	
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-9 Ⅱ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

・検出限界の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約70日)、Sr-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小出力) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および検出停止の項目は「-」と記す。

・O.O.E±0とは、O.O.E(10%)であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と表す。

・H-3以外他核種にお知らせ済み。

※1 No.1-9は、排水器による排気であるため、VIL値は記載せず。各別は参考値として記載に付す。

10/13

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

観測地点	採取日時	分析項目										塩素 (ppm)				
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他核種抽出液						
L2号観測孔 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2	2022/03/31 08:02	2.2E+02	3.2E+02	< 2.7E-01	< 3.8E-01	< 3.2E+00	< 1.2E+00	< 4.0E-01	6.6E-01	—	—	—	—	—	—	—
No.2-2	2022/03/31 07:48	1.6E+02	3.3E+02	< 1.6E+00	< 1.6E+00	< 2.1E+01	< 5.5E+00	< 2.0E+00	5.2E+01	—	—	—	—	—	—	—
No.2-3	2022/03/31 07:58	2.4E+04	2.7E+03	< 2.7E-01	< 3.9E-01	< 2.7E+00	< 1.0E+00	< 3.1E-01	2.2E+00	—	—	—	—	—	—	—
No.2-5 #1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-8	2022/03/31 07:33	3.1E+03	3.4E+02	< 2.4E-01	< 2.8E-01	< 2.1E+00	< 8.3E-01	< 2.6E-01	1.6E+00	—	—	—	—	—	—	—
2,3号観測孔 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3	2022/03/31 07:28	2.3E+02	2.5E+03	< 3.4E-01	< 3.5E-01	< 3.7E+00	< 1.3E+00	< 5.2E-01	4.9E+00	—	—	—	—	—	—	—
No.3-2	2022/03/31 07:38	3.6E+02	3.3E+02	< 1.4E+00	< 2.4E+00	< 1.6E+01	< 4.4E+00	< 1.7E+00	4.1E+00	—	—	—	—	—	—	—
No.3-3	2022/03/31 07:43	1.7E+03	1.9E+03	< 4.1E+00	< 5.5E+00	< 4.0E+01	< 2.1E+01	< 5.2E+00	1.8E+02	—	—	—	—	—	—	—
No.3-4	2022/03/31 07:23	< 1.2E+01	5.0E+02	< 8.5E-01	< 9.1E-01	< 8.2E+00	< 2.8E+00	< 7.5E-03	3.1E+00	—	—	—	—	—	—	—
No.3-5 #1	2022/03/31 07:17	3.1E+01	< 1.1E+02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5E+02
3,4号観測孔 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

観測孔の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約70日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

不検出 (<: 測定値) は、検出限界値未満 (ND) を示す。

測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

O.O.E.Q.とは、 0.0×10^{-6} であることをご注意ください。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 であり、3.1E+00は 3.1×10^0 であり、3.1E-01は 0.31 と読み取ります。

H-3以外は検出されません。

※ No.2-5、No.3-5は、取水網による採取であるため、測定結果は参考値としてご報告いたします。

11/13

2022年4月5日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/04/04 09:10	1.1E+01	< 6.9E-01	< 6.4E-01
1F 6号機取水口前	2022/04/04 08:35	1.5E+01	< 5.3E-01	< 4.4E-01
1F 物揚場前	2022/04/04 08:05	1.8E+01	< 5.5E-01	< 4.1E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/04/04 08:20	< 1.2E+01	< 7.2E-01	8.7E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (遼水壁前)	2022/04/04 08:15	< 1.2E+01	< 4.6E-01	1.5E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/04/04 10:30	1.2E+01	< 6.7E-01	< 6.0E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/04/04 06:56	1.3E+01	< 5.0E-01	< 6.2E-01
1F 港湾中央	2022/04/04 07:04	< 1.2E+01	< 4.7E-01	< 5.8E-01
1F 港湾内東側	2022/04/04 07:02	1.7E+01	< 3.1E-01	< 2.9E-01
1F 港湾内西側	2022/04/04 07:06	< 1.3E+01	< 2.4E-01	< 2.9E-01
1F 港湾内北側	2022/04/04 07:08	1.5E+01	< 2.9E-01	< 3.4E-01
1F 港湾内南側	2022/04/04 07:00	< 1.3E+01	< 3.6E-01	< 3.2E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2022/04/04 06:38	< 1.1E+01	< 8.3E-01	< 6.0E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2022/04/04 06:40	< 1.1E+01	< 4.7E-01	< 6.6E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2022/04/04 06:43	1.7E+01	< 7.6E-01	< 8.0E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2022/04/04 06:47	< 1.1E+01	< 4.3E-01	< 6.1E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2022/04/04 06:50	1.5E+01	< 8.6E-01	< 5.9E-01
告示濃度限度 ^{※1}			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 ・不等号 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・0.0E±0とは、0.0×10⁰であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
 ・物揚場前は、シルドフェンス開閉を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。
 ※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
 (別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])
 ※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

12/13

2022年4月5日

東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/03/28 07:44	9.2E+00	< 9.4E-01	< 6.4E-01	< 6.5E-01
1F 6号機取水口前	2022/03/28 08:32	2.1E+01	< 2.2E+00	< 5.1E-01	< 4.4E-01
1F 物揚場前	2022/03/28 08:00	1.6E+01	< 1.5E+00	< 4.2E-01	< 5.5E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除過北側)	2022/03/28 07:47	< 1.3E+01	3.0E+00	< 2.7E-01	9.2E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (遠水壁前)	2022/03/28 07:53	< 1.3E+01	2.7E+01	< 5.5E-01	2.5E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/03/28 09:15	1.1E+01	< 9.3E-01	< 7.6E-01	< 7.1E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/03/28 06:53	1.4E+01	< 1.5E+00	< 4.1E-01	< 5.8E-01
1F 港湾中央	2022/03/28 06:59	< 1.3E+01	< 1.5E+00	< 5.4E-01	< 5.1E-01
1F 港湾内東側	2022/03/28 06:57	< 1.3E+01	< 1.5E+00	< 3.1E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内西側	2022/03/28 07:01	< 1.3E+01	< 1.5E+00	< 3.4E-01	5.3E-01
1F 港湾内北側	2022/03/28 07:03	1.5E+01	< 1.5E+00	< 2.9E-01	3.7E-01
1F 港湾内南側	2022/03/28 06:55	1.5E+01	< 1.5E+00	< 3.6E-01	2.9E-01
1F 北防波堤北側 (T-D-1)	2022/03/28 06:40	< 1.4E+01	< 8.7E-01	< 9.5E-01	< 6.8E-01
1F 港湾口北東側 (T-D-1A)	2022/03/28 06:42	< 1.4E+01	< 8.7E-01	< 8.2E-01	< 6.0E-01
1F 港湾口東側 (T-D-2)	2022/03/28 06:45	< 1.4E+01	< 8.7E-01	< 7.2E-01	< 6.0E-01
1F 港湾口南東側 (T-D-3A)	2022/03/28 06:47	< 1.4E+01	< 8.7E-01	< 5.8E-01	< 6.1E-01
1F 南防波堤南側 (T-D-3)	2022/03/28 06:50	< 1.4E+01	< 8.7E-01	< 8.8E-01	< 7.5E-01
告示濃度限度 ^{※1}			6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

- ・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。
- ・(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ・物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。
- ・H-3以外は既に告知らせ済み。
- ※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
 (別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])
 ※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

13/13

2022年4月5日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目				
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他 Y核種
一時貯水タンク (サンプルタンク)	2022/04/01 08:18	750	東京電力 東北緑化環境保全(株)	< 6.4E-01	7.7E+02	< 6.3E-01	< 6.9E-01	検出なし
				< 4.3E-01	8.2E+02	< 5.8E-01	< 6.1E-01	検出なし
				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2
					6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	
					1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	
運用目標								
告示濃度限度※3								
WHO飲料水水質ガイドライン								

・核種の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・O.OE±Oとは、O.O×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134,Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一原子力発電所

14:35

様式 9-1 (1/2) 3

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第 2 3 4 1 4 報)

2022年 4月 5日 14時 30分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第 2 5 条 報 告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 大野 公輔
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第 2 5 条 第 2 項 の 規 定 に 基 づ き, 応 急 措 置 の 概 要 を 以 下 の 通 り 報 告 し ま す。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原 2 2
特定事象の発生箇所 (注 1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注 1)	2 0 1 1 年 (平 成 2 3 年) 3 月 1 1 日 1 6 時 3 6 分 (2 4 時 間 表 示)
特定事象の種類 (注 1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第 6 条 第 4 項 第 4 号, 省令第 2 1 条 第 1 項 ロ)
発生事象と対応の概要 (注 2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第 1 2 9 9 3 報 他 で お 知 ら せ し た, 地 下 貯 水 槽 周 辺 の 観 測 孔 に お い て 全 ベー タ 放 射 能 が 上 昇 し た 事 象, 及 び 第 1 3 2 7 4 報 他 で お 知 ら せ し た, 地 下 貯 水 槽 i 南 西 側 及 び 北 東 側 の 漏 え い 検 知 孔 水 に お い て 全 ベー タ 放 射 能 が 上 昇 し た 事 象 に つ い て, 下 記 の と お り 水 の 分 析 を 実 施 し ま し た の で, お 知 ら せ し ま す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下貯水槽 (周辺観測孔) 分析結果 [採取日 4月4日] 地下貯水槽 (ドレン孔・検知孔・海側観測孔) 分析結果 [採取日 4月4日] <p>今回の分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。</p> <p>引き続き、地下貯水槽周辺の監視を行うとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していきます。</p> <p>【公表区分：D続】</p>
その他の事項の対応 (注 3)	なし

※添付の有り・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 と する。

- (注 1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。
- (注 2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。
- (注 3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2/3

2022年4月5日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽（周辺観測孔）分析結果（全β）

採取地点	採取日時	分析項目
		全β (Bq/L)
地下貯水槽 周辺観測孔 (i~iii)	A1	—
	A2	2022/04/04 08:40
	A3	2022/04/04 08:46
	A4	2022/04/04 08:53
	A5	—
	A6	—
	A7	—
	A8	—
	A9	—
	A10	—
	A11	—
	A12	—
	A13	—
	A14	—
	A15	—
	A16	—
	A17	—
	A18	—
	A19	—

- ・不等号 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
 - ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
 - ・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

3/3

2022年4月5日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽（ドレン孔・検知孔・海側観測孔）分析結果（全β）

採取地点			採取日時	分析項目
				全β (Bq/L)
地下貯水槽 (ドレン孔水)	i	北東側	—	—
		南西側	—	—
	ii	北東側	—	—
		南西側	—	—
	iii	北東側	2022/04/04 08:24	6.1E+01
		南西側	—	—
	vi	北西側	—	—
		南東側	—	—
地下貯水槽 (漏えい検知孔水)	i	北東側	—	—
		南西側	—	—
	ii	北東側	—	—
		南西側	—	—
	iii	北東側	—	—
		南西側	—	—
海側観測孔	②	2022/04/04 09:28	3.5E+01	
	⑦	—	—	
	⑧	—	—	

- ・不等号 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

17:35

東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一原子力発電所

様式 9-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第 2 3 4 1 5 報)

2022年 4月 5日 17時27分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第 2 5 条 報 告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第 2 5 条第 2 項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字天沢字北原 2 2
特定事象の発生箇所 (注 1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注 1)	2011年 (平成 23年) 3月 11日 16時 36分 (24時間表示)
特定事象の種類 (注 1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第 6 条第 4 項第 4 号, 省令第 2 1 条第 1 項ロ)
発生事象と対応の概要 (注 2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第 2 3 4 1 0 報でお知らせしたとおり, サブドレン他水処理施設一時貯水クランク A に貯水していた水について, 本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水開始 : 9時 58分 ・排水終了 : 16時 26分 ・排水量 : 966 m³ <p>排水状況については, 漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分: E】</p> <p>※添付の有り (無し)</p>
その他の事項の対応 (注 3)	なし

備考 この用紙の大きさは, 日本産業規格 A 4 とする。

(注 1) 最初に発生した警報事象該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注 2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注 3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。